

プログラム名 (40字以内)	野宿学(雪国編)「雪国でイグルーを自作して一晩過ごしてみよう」		
団体名/所属	野宿学研究会		
活動区分	フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	先着順
募集人数	8人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	アウトドアのライフスタイルに関心があり、寒さを楽しんだり体験したい人向け		
活動期間	2025/2月中旬、2泊3日	主な活動予定場所	長野県飯山市 戸狩温泉
プログラム実施の目的	雪国の生活環境に触れると共に、自然の資源や環境問題に対する考えを深める		
具体的な内容(800字程度)	<p>野宿学(雪国編)「雪国でイグルーを自作して一晩過ごしてみよう」</p> <p>野宿学とは、本企画を立ち上げる為に提案された小淵祐介研究室で進めているDIY研究の造語で、設備の整った建物の中で宿を取るのではなく、自分の力もしくは共同体で一晩過ごす場所を創ること、または野宿の可能性について考えることを目的とする。大雑把に言ってしまうと、アウトドアキャンピングを市場原理のレジャーやライフスタイルとしてだけに位置付けるのではなく、持続的社會に向けた最小限の生活環境のあり方を自分の手で作ってみることで、抽象的に捉えられがちなカーボンニュートラル社會の実現を体験をもとに模索することを目標とする。</p> <p>本企画のメインのイグルーとは、カナダ北部や北極圏に住むイヌイット族でよく知られている、圧雪ブロックをドーム状に積んで作る伝統的な移動式住居のこと。テントのような複数種類の部材による構築物と違い、移動中の場所で採れた雪を建材として使う。また、移動後に取り残されたイグルーは放置しておけば水に戻る、といった最もシンプルで環境負荷の低い環境的資源循環型住居といっても過言ではない。また、実際に体験してみないと信じ難い事だが、圧雪ブロックは氷と違い小さな気泡を多く含んでおり断熱性に富んだ「建材」であり、室内空間は少しの暖房で外気と比べて暖かくすることができる。寒冷地ならではの生活の知恵が詰まった生活空間である。</p> <p>本企画は、長野県飯山市戸狩温泉スキー場の麓をベースに、1メートル以上の厚さの雪に覆われた広大な日本の原風景を見渡す場所で、地元の人たちの協力を得ながらイグルーを小淵祐介研究室(工学系研究科建築学専攻)と佐藤淳研究室(新領域環境学専攻)の学生達と一緒に造り、実際に一晩過ごしてみるワークショップです。イグルーの製作は、小淵研究で開発しているハンドヘルド・デジタルファブリケーション・ツールと、佐藤研究室で開発されている構造解析システムを用いて、建設に関わったことのない人でも建築のモノづくりに参加できる建築構法の研究の実証実験として展開される。飯山市からのサポートを背景に、豪雪地帯における雪資源の活用をベースとした新しい観光モデルのあり方なども地元住民や行政の方々やディスカッションする予定です。</p> <p>ワークショップは2泊3日の予定。初日はかんじきの作成など、深雪での屋外活動の準備やイグルー設置場所の準備、地元の人たちとの交流など、2日目はメインのイグルー作りと野宿体験、3日目はイグルー周辺の深雪のハイキングや、地元の方々との交流。</p>		
【総額】参加するための費用	34,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	12,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	20,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	材料費、宿泊費、食費		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	真冬の屋外での作業を前提としたワークショップなので、防寒着(防水仕様)防寒長靴、防寒手袋、などの冬支度は各自で準備する。		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://www.youtube.com/watch?v=hVRUQoFjHcA		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)			
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		